

高信頼性ICタグ

シンプルにすると信頼性が上がる

半導体の歴史のなかで、シンプルにして売れたものはあまりありません。それは機能の低下を意味するからです。集積度向上のトレンドに従って、その時のプロセス技術で許される歩留まりが確保されるチップサイズでいかに機能を取り込むかの競争が行われてきました。

機能低下は付加価値の低下を意味しますから、競争に負けてしまうのは当然のことです。RFIDチップにおいても、電子マネーに使われるチップは暗号処理を入れたりする必要があり自ずから複雑なチップになってしまいます。

「パウダーチップ」はシンプルにすることを徹底して行っています。これは、機能はネットに負わせるという新しいコンセプトに基づいています。「パウダーチップ」をコンセプトチップと称する理由です。

電子マネーに使われるRFIDチップはチップのなかのメモリに金額が収められています。「パウダーチップ」ではネットに金額が暗号化されて収められています。たとえチップが壊れてもネットでいつもバックアップされているので信頼性が上がります。